

第2回 まちづくり市民協議会会議録

日時：令和2年10月6日（火）18時30分～

会場：あいぱーく光 いきいきホール

出席者 委員 32人（欠席5人）

事務局 6人

1 会長あいさつ

前回会議では、市川市長から委嘱状の交付を受け、事務局から本協議会の役割として、第2次光市総合計画の進捗管理をはじめ、特に、第3次光市総合計画の策定に向けた協議が大きな使命であると説明いただいた。そして、第3次光市総合計画の策定方針として、さまざまな課題や社会変化の中、次の計画期間におけるまちづくりの基本的な考え方が示された。

本日はこうした役割や考え方を踏まえつつ、6つのグループに分かれて、まちの魅力と課題を整理するためのワークショップを実施する。本日の議論が多くの方が考える「率直な思い」が集約される場であると考えているので、委員各位におかれては、日頃思っていることのみならず、こういう立場の人だったらどう考えるかといった、少し幅広い視点でご意見をいただけると議論が深まるのではないかと思う。皆様のご協力をお願い申し上げます。

2 報告事項

事務局より資料に基づいて説明ののち質疑意見等

●委員

令和元年度進捗評価の点数が持つ意味がよく理解できなかった。数値ではなく、具体的に施策の実行項目として何が足りなかったのか、何が良くて何が悪かったのか、その理由は何なのかを説明いただければありがたい。

●会長

評価方法については前期（第6期）協議会から説明を受けてきたものである。足りなかったものなどについて、一例でいいので事務局から説明をお願いする。

●事務局

当日資料2の4ページから6ページに、6つの基本目標ごとに評価の高いA評価、評価の低いD評価の指標の一例を抜粋して記載している。例えば、4ページの基本目標1（市民力・地域力）では、目標値に対して進捗しているものの一例として、「協働事業の数」という指標は、第2次総合計画策定時が79件、令和3年度の目標値が80件以上に対し、令和元年度の近況値は81件、進捗率は200%となっており、令和元年度の

目標進捗率60%を上回っているため、A評価となっている。一方、目標値に対して進捗していないものの一例として、「地域の自治会やコミュニティ活動に参加している人の割合」という指標は、進捗率がマイナス13%であるため、D評価となっている。

3 議題

(1) ワークショップの進め方について

事務局より資料に基づいて説明

(2) ワークショップ

【テーマ】まちの魅力と課題を整理しよう～これからのまちづくりに向けて～

・「ひと」「もの」「まち」の各テーマ2グループ、計6グループに分かれて、ワークショップを実施

4 その他

○ 事務局から今後の予定等について連絡

- ・次回開催は11月12日（木）18時30分から予定している
- ・次回は引き続きワークショップ形式で、光市が目指す理想の姿について意見交換する予定

終了 20時10分